

# 上昇率 片町連続トップ



## 県内公示地価

### 伸び鈍化 コロナで停滞懸念

18日に発表された公示地価では、金沢市の片町スクランブル交差点近くにある片町2丁目の上昇率が2年連続でトップとなった。周辺のホテル開発計画にけん引され、中心部の地価上昇の動きは続いたが、伸びは鈍化した。またなかで建て替えの動きがあった一方、足元では新型コロナウイルスの影響でホテル、商業店舗とも利用は落ち込み、新たな投資は停滞する可能性がある。

片町2丁目の上昇率は13.6%と比べると伸び幅は縮小した。地価公示石川分科会の西田雄一代表幹事(不)

上昇率トップは片町2丁目と金沢市のスクランブル交差点

動産鑑定士)は「1年前の公示地価より伸び幅はあったが、昨年後半から地価は落ち着いた展開になっている」との認識を示した。古い社交ビルや店舗からホテル・マンションに建て替える動きがあった一方、西田氏は「コロナで観光需要は蒸発した状態で、先行きは不透明」と指摘する。観光面で金沢の持つポテンシャルは揺るぎないものの、どこまで影響が及ぶか注視する必要があるとした。「またなかで建て替えの動きが出たのは良かったが、足元を見ると大喜びはできない」。片町商店街振興組合の諸江洋理事長は慎重な姿勢を崩さない。観光の落ち込みや出控えで商店街は厳しい状況にあるとし、終息後の回復に期待を込めた。

### 5温泉地 そろって下落

石川県内の温泉地では、七尾市和倉温泉が5年ぶりにマイナスに転じた。昨年10月の台風19号で北陸新幹線が一時運休し、宿泊者数が減少したことが響き、加賀の温泉街もそろってマイナスだった。

#### 新幹線運休響く

現在は新型コロナウイルスの感染拡大で旅館のキャンセルが相次いでおり、温泉地からは「厳しい状況が続くが、耐えるしかない」との声が漏れた。下落率は、前年が横ばいだった

#### 和倉5年ぶりマイナス

和倉温泉が1.0%となった。山中温泉は1.7%、山代温泉は0.8%、片山津温泉は1.6%、粟津温泉は1.5%で悪化した。和倉温泉旅館協同組合によると、2019年の宿泊者と日帰り客を合わせた人数は8万3295人で、前年から6.0%減少した。加賀市によると、19年の3温泉地の入り込み客数は前年比4.5%減の185万5111人だった。和倉温泉旅館協同組合の担当者は「新幹線開業当時の勢いはなくなっている、台風19号でキャンセルも目立った」と話した。

#### 銀行協会かたる特殊詐欺容疑

#### 中国籍男2人逮捕

金沢中署

金沢中署は18日、銀行協会の職員をかたる特殊詐欺事件で、中国籍の男2人を詐欺と詐欺未遂容疑で逮捕したと発表した。今年に入って石川県警が特殊詐欺事件で逮捕した中国人は2人を含め計7人となった。

詐欺の疑いで逮捕されたのは、自称埼玉真川口市、無職張吉美容疑者(27)。14日に金沢市内の80代女性からキャッシュカードと通帳を詐取した疑い。女性のカードと通帳を使って計27万3千円が引き出されていた。

県内では、つその電話をかけた後に被害者宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取る手口の詐欺被害が続発。詐欺グループの末端とされる「受け子」や「出し子」を担ったとして、中国人が逮捕されるケースが増えており、県警は警戒を強めている。

#### 新型コロナウイルスに関する 県、金沢市 電話相談窓口

24時間受け付け

- ▽南加賀保健福祉センター＝0761(22)0796
- ▽石川中央保健福祉センター＝076(275)2250
- ▽能登中部保健福祉センター＝0767(53)2482
- ▽能登北部保健福祉センター＝0768(22)2011
- ▽金沢市保健所＝076(234)5106
- ＝076(234)5108
- ※平日のみ、午前9時～午後9時
- ▽県健康推進課＝076(225)1670

「この際、新型コロナウイルスの影響で稼働率は大きく低下している。」

後、ホテル開発の波が駅周辺から南町、香林坊、片町へと広がってきた。ホテルの客室数増加に加え、最近では新型コロナウイルスの影響で稼働率は大きく低下している。